

例

QI 測定結果の表示イメージ

? 診療の質指標 Quality Indicator (QI) とは

- 診療の質指標(Quality Indicator: QI)とは、標準的な診療がどの程度行われているかを、その実施率(行われている割合)でスコア化するものです

$$\text{QIの実施率} = \frac{\text{標準診療が行われた患者さんの数}}{\text{標準診療の対象となる患者さんの数}}$$

- 施設や地域ごとの実施率を検証することで、標準診療の普及の程度やがん診療における問題点が明らかになり、それを認識することによって、患者さんに提供する医療の質の改善につながる事が期待されます。

厚生労働省がん臨床研究事業「がん対策における管理評価指標群の策定とその計測システムの確立に関する研究班」(祖父江班)では、がん医療の“均てん化”の推進を目的に、5大がん(胃がん、大腸がん、肝がん、肺がん、乳がん)と緩和ケアについての QI を作成しました。

⇒ 祖父江班 QI について、くわしくはこちら <http://qi.ncc.go.jp/>

このたび、〇〇病院でも、
この QI を用いて【例】大腸がんに関する「診療の質」の評価に取り組みました。

【評価の方法】

祖父江班で作成した診療の質指標(QI)のうち、〇項目の QI を用いて評価を行いました。

評価の対象とした患者さん:	【例】2010年の院内がん登録に大腸がんの病名で新規に登録され、 〇〇病院で治療を行ったすべての患者さん。 ※ただし、2つ以上のがんを治療中の患者さんや、他の病院でも癌の 治療を平行して行っている患者さんなどは除く。
データを収集する方法:	カルテや検査報告書など、病院に保管されている治療経過の記録の中 から、必要な情報を集める
データ収集の担当者:	【例】院内がん登録室:山田花子(診療録管理士・がん登録実務者)
実施率算出の担当者:	【例】院内がん登録室:山田花子(診療録管理士・がん登録実務者)
〇〇病院における この取り組みの代表者:	【例】院長:鈴木太郎

【結果】

例

QI 番号	分母	分子	分母の条件 に当てはまる 患者数 Ⓐ	分子の条件に 当てはまる 患者数 Ⓑ	実施率 (%) Ⓑ÷Ⓐ
大腸-1	治療前腫瘍マーカー(血清 CEA 値)の測定				
	手術または化学療法を受けた大腸癌患者数	治療前の血清 CEA 値の測定結果が診療録に記載されている患者数	121 人	115 人	95.0%
大腸-2	術前の全大腸検索				
	手術を受けた大腸癌患者数	(1) 術前に全大腸の検索(内視鏡検査、注腸造影検査、CT colonography)が施行された、もしくは(2)施行されない理由が診療録に記載されている患者数	110 人	(1)75 人 (2)10 人 計 85 人	77.3%

:
(中略)
:

大腸-5	術前の直腸指診				
	手術を受けた直腸癌(Ra、Rb)患者数	術前に直腸指診が施行され、所見((1)触知の有無、(2)腫瘍から肛門縁までの距離(触知した場合)・(3)腫瘍と肛門括約筋との位置関係(触知した場合)・(4)腫瘍の可動性(触知した場合))が診療録に記載されている患者数	35 人	(1) 34 人 (2) 10 人 (3) 8 人 (4) 15 人 すべて満たす:7 人	20.0%
大腸-6	術前の腹部画像検査				
	待期手術を受けた cSM 以深の大腸癌患者数	術前に肝臓を含む(1)腹部造影 CT((2)行えない場合には他の腹部の画像検査)が施行された患者数	55 人	(1) 48 人 (2) 3 人 計 51 人	92.7%

【使用した QI 出典】

厚生労働省がん臨床研究事業「がん対策における管理指標群の策定とその計測システムの確立に関する研究」班:診療の質指標 Quality Indicator. 2009.

<http://qi.ncc.go.jp>